

愛知県青少年育成県民会議だより

Next Generation

次代

第160号 2025.10



第56回愛知県青少年育成県民会議青少年団体等表彰受賞者の皆様

CONTENTS

表紙／第56回愛知県青少年育成県民会議青少年団体等表彰受賞者 …	1
第56回愛知県青少年育成県民会議青少年団体等表彰受賞者一覧 …	2
「私の意見」～青年まで続けるボーイスカウト～ ……………	3
令和7年度「少年の主張」愛知県大会が開催されました ………	4
令和7年度「少年の主張」愛知県大会「最優秀賞」作品紹介 ……	5
「青少年の被害・非行防止に取り組む県民運動(夏期)」を実施しました …	6
11月は「子ども・若者育成支援県民運動」の強調月間です ………	6
第64回「青少年によい本をすすめる県民運動」……………	7
令和7年度ボランティア活動功労者表彰受賞者 ……………	8
愛知県青少年保護育成条例を一部改正しました ……………	8
子ども・若者未来会議を開催します ……………	8



愛知県青少年育成推進キャラクター
「ゆうりい」

第56回愛知県青少年育成県民会議青少年団体等表彰受賞者一覧

県民会議では、毎年県内において青少年の健全育成に多大なる貢献をされた個人・団体を表彰しており、6月3日(火)に愛知県三の丸庁舎で開催された令和7年度愛知県青少年育成県民会議総会において、個人の部：9名、団体の部：6団体を表彰しました。

日頃の活動に改めて感謝申し上げるとともに、今後も、それぞれの地域、立場での一層の御活躍を期待します。

■個人の部(青少年)

(敬称略)

氏名	住所	所属団体
原 瑛	名古屋市名東区	一般社団法人日本ボーイスカウト愛知連盟
計1名		

■個人の部(青少年育成者)

氏名	住所	所属団体
井口 真治	愛知郡東郷町	愛知県子ども会連絡協議会
上山 浩司	安城市	安城東部祥学館
鵜飼 明宏	名古屋市守山区	一般社団法人日本ボーイスカウト愛知連盟
近藤 麻美	名古屋市中村区	中日子ども会
角 定頼	春日井市	柏原野球スポーツ少年団
日比野 良治	江南市	日本ボーイスカウト愛知連盟尾張東地区江南第3団
深田 充代	安城市	ガールスカウト愛知県第43団
若林 眞由美	一宮市	愛知県青少年育成アドバイザー連絡協議会
計8名		

■団体の部(青少年団体)

団体名	所在地
ガールスカウト愛知県第64団	東海市
日本ボーイスカウト愛知連盟名古屋第101団	名古屋市守山区
計2団体	

■団体の部(青少年育成団体)

団体名	所在地
応時中学校区青少年健全育成会	小牧市
浄水 里山づくりの会	豊田市
日進市赤池学区家庭教育推進委員会	日進市
野田スポーツ少年団 剣道	田原市
計4団体	

私の意見～青年まで続けるボーイスカウト～

一般社団法人 日本ボーイスカウト愛知連盟 原 瑛

■ ボーイスカウトとわたし ■

多くの方が“ボーイスカウト”と聞くと、小中学生がキャンプや街頭募金活動を行う姿を思い浮かべるのではないのでしょうか。私は5歳の時にボーイスカウトに入団し、社会人となった現在まで20年間、活動を続けてまいりました。

ボーイスカウトとは、青少年が自然体験や共同生活を通じて自立心や協調性を育む国際的な教育運動です。幼年から青年まで年齢に応じた部門が組織されており、キャンプなどの野外活動から奉仕活動まで、多様なプログラムを実施しています。これらの活動を通して、自立心、協調性、リーダーシップなどを養うことを大切にしています。

では、小中学生から青年(大学生や社会人)となった今も、なぜこの活動を続けているのでしょうか。



■ 失敗できる環境で青年の成長を ■

青年期に入ると、活動範囲はこれまでの地域団から県内、全国へと広がります。愛知県には、18歳から26歳までのボーイスカウトが集まるコミュニティ「愛知ローバース会議」が存在し、私は大学時代に代表を務めました。就任した2020年4月は、新型コロナウイルス感染症の影響により、全国的に活動が停止していました。そのような状況下において、我々世代の強みであるインターネットを活用し、いち早く総会を実施しました。また、活動が困難な小学生から中学生年代に向けて、自宅でも行えるゲームや教育活動をYouTubeで配信することをコミュニティの仲間に提案し、実施しました。

新しい活動を提案し自ら進める経験や、活動の計画を立てる経験、仲間との打ち合わせで意見をまとめる経験から、社会人基礎力(前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力)を培うことができました。

また、上記を進める中で困難に直面することも少なくありませんでした。その中で常に評価反省をし、改善に努めました。社会人となった今、青少年教育活動のように、社会人になる前の時期に失敗を経験しながら仲間とともに成長できる環境の重要性を改めて認識しています。



〈愛知ローバース会議の様子〉



〈YouTubeの様子〉



〈後輩スカウトへの支援の様子〉

■ 次の世代へ ■

これまで教育を受ける立場としてボーイスカウト活動に参加し、貴重な経験を積むことができました。これは多くの成人の方々のご支援の賜物と深く感謝しております。次世代の青少年もこのような経験ができるよう、今後は私自身が、身近な青少年である後輩スカウトの健全育成に尽力してまいります。

令和7年度「少年の主張」愛知県大会が開催されました

愛知県・愛知県青少年育成県民会議・独立行政法人国立青少年教育振興機構が主催し、愛知県教育委員会・名古屋市・名古屋市教育委員会が共催する「令和7年度少年の主張愛知県大会」が、8月20日(水)に名古屋市中区役所ホールで開催されました。

県内240校の中学校から、33,831名の応募があり、各地区から選ばれた中学生が日頃からの思いや自分の考えを堂々と力強く発表しました。

発表は、家族・学校生活・現代社会や地域に関する内容などで、いずれも社会や世界、そして未来に向けて前向きな考え方をもち、行動しようとする意欲に溢れていました。

各賞の受賞者は右表のとおりですが、最優秀賞を受賞した松永高志さん(西尾市立鶴城中学校3年)が、全国大会の出場候補者に推薦されることになりました。

種 別	題 名	受 賞 者
最優秀賞 (愛知県知事賞)	ヒーロー	西尾市立鶴城中学校 3年 松永 高志
優秀賞 (愛知県議会議長賞)	「ちがい」がつかないだ心	愛知教育大学附属岡崎中学校 3年 鈴木 咲菜
優秀賞 (名古屋市教育委員会賞)	言葉の壁を乗り越えて	豊田市立竜神中学校 3年 ビン ハナ
優秀賞 (愛知県教育委員会賞)	思いを繋ぐヘッドネーション	小牧市立桃陵中学校 3年 芳野 令奈
優秀賞 (愛知県青少年育成県民会議会長賞) 共感賞	繊細と言う名の才能 一短所は長所の裏返し	大府市立大府西中学校 3年 近藤 天音
奨励賞	唯一無二の恩	名古屋市立新郊中学校 3年 石川 真愛
奨励賞	「私たちが未来のために できること」	豊田市立旭中学校 3年 河合 柚奈
奨励賞	多様性とわたし	新城市立新城中学校 3年 川村 知慧
奨励賞	心の声を聴く	田原市立東部中学校 3年 鈴木 瑠心
奨励賞	違いを知り、誇りを持ち、 未来を歩む	稲沢市立稲沢西中学校 3年 田中 紗来
奨励賞	共に生きる社会	岡崎市立六ツ美中学校 3年 段下 慶士郎
奨励賞	幸せの正体	豊山町立豊山中学校 3年 松岡 咲花
奨励賞	世界はうつくしいと	蟹江町立蟹江中学校 3年 山田 笑里
奨励賞	「普通」だらけの日本で	豊川市立御津中学校 3年 山田 陽葵

* 「共感賞」は、開催地名古屋市の中学生から選ばれた5名がジュニア選考委員となり、最も共感できる作品を選出しました。

* 発表者全員に、「奨励賞」(愛知県青少年育成県民会議会長賞)が贈られました。



〈発表者の皆さん〉



〈ジュニア選考委員の皆さん〉

令和7年度「少年の主張」愛知県大会「最優秀賞」作品紹介

ヒーロー

西尾市立鶴城中学校 3年 松永 高志

中学校に入学すると、「将来、なりたい姿は何ですか」と聞かれることが多くなった。そのたびに、僕は「優しい人」と答え、本当の気持ちを封印するようになった。

僕が本当になりたい姿、それはヒーローだ。幼い頃、ヒーローが悪と戦い、世界を救うカッコよさにあこがれた。その夢は年とともに変化しながら、僕の中に存在し続けた。

僕は今まで中国、タイ、フィリピン、インドに訪れたことがある。特に、小学六年の一年間を過ごしたインドでは衝撃を受けた。僕が過ごしていた都会から、さほど遠くない場所にストリートチルドレンやブルーシートの家で暮らす人々がいたのだ。日本や他の国では感じることもなかった貧困を肌で感じ、夢は弱い人たちや困っている人たちを助ける人になりたいという強い思いへと成長していた。

それなのに、中学生になると、「ヒーローになりたい」と言うと、子供みたいと笑われて恥ずかしいから、「優しい人」と無難な言い方をした。本当は、夢の大きさに向き合いきれず、自分から無理だと逃げていたのだ。

ところが、中学三年生の四月、そんな僕の心を揺さぶる出来事があった。塾の帰り道、いつも通り自転車をこいでいたときだった。ガンという衝撃と同時にアスファルトに顔から突っ込んだ。急な出来事で自分に何が起きたのか分からなかった。頭や手のヒリヒリとした感覚。口に広がる鉄のような血の味。ようやく前輪が石に乗り上げて転んだのだと理解した。歯は折れて、変な方向に傾いていた。自転車は車輪が大きく曲がって動かず、持ち上げたくても力が入らない。どうしたらいいのかと、僕は途方に暮れた。そのとき、

「大丈夫？」

二人のお兄さんが声をかけてくれた。一人は金髪で黄色の眼鏡、もう一人はタバコを吸っていた。近づいてきた二人が、僕はただただ怖かった。二人の外見が「悪い人」をイメージさせたからだ。このまま絡まれてしまうのかと、ドキドキして冷汗が出てきた。

でも、その不安な気持ちはすぐに消えた。二人は僕の話聞いて、すぐに自転車を移動し、スマホを貸してくれて、親に連絡をさせてくれた。貧血で倒れそうになった僕を近くのベンチまで運び、ずっと付き添ってくれた。

「こんな遅くまで勉強してすごいじゃん。俺らそんな頭良くなえから。本当、尊敬だわ。」

緊張がほぐれるように明るい口調で話をしてくれ、勉強や将来の話になったときは、

「今の自分では志望校に合格できないかも。」

と、僕が自信なく言うと、彼らは、

「君ならできるよ。塾行ってがんばってるじゃん。応援するよ。」

と、言ってくれた。その後、親が来てくれたので彼らにお礼を言って、そのまま別れた。

今、思い出しても、彼らは間違いなく本物のヒーローだった。困っている僕を見て見ぬふりすることなく助けてくれた。痛む身体だけでなく、進路に悩む気持ちにも寄り添い、優しく励ましてくれた。僕を救い、勇気づけるだけでなく、人を見た目で判断してはいけないことにも気づかせてくれた。

二人への感謝の気持ちとともに、僕もヒーローになりたいという夢がよみがえってきた。誰が困っていても、ためらいなく動ける優しさや強さ、その場でできる精いっぱい行動をする誠実なヒーローに。

また、そのとき、僕は二人から受け取った思いを次の誰かにつなげていきたいとも考えた。すると、僕だけがヒーローでなくてもいいということに気づいた。僕と同じように、その人が誰かにもらった優しさや励ましを次の誰かに贈ることができたら、その人は誰かにとってのヒーローになれる。それは連鎖となって、次へ次へとつながっていくはず。そうやって、誰もがヒーローになれば、優しさがあふれる温かい世界が作っていけると思う。

今、ヒーローになりたい僕にできることは「国連で働く」という夢に本気で挑戦することだ。インドでの生活で目の当たりにした、幼い子が自分のおかれた現状も理解しないままに当たり前のように働いたり、物乞いをしたりすることのない世の中にしたい。生まれた時から人生が決まることのない、格差のない平等な社会にしたい。二人のお兄さんの応援に応え、自分なりにありがとうと伝えるためにも、僕は彼らを超えるヒーローになる。(原文のまま掲載しました。)



「青少年の被害・非行防止に取り組む県民運動(夏期)」を実施しました ～「非行の芽 はやめにつもう みな我が子」～

県民会議では、県、県教育委員会、県警察本部と共催で7・8月の2か月間、「青少年の被害・非行防止に取り組む県民運動(夏期)」を行いました。

青少年を取り巻くインターネット利用環境が一層多様化する中、SNSやオンラインゲームを通じて面識のない相手と知り合い、性犯罪等の被害に遭った児童数は高水準で推移しています。

また、それぞれに事情や問題を抱えた青少年が、SNS等を通じて出会った者やコミュニティに自分の居場所を求めて繁華街に集まり、犯罪被害に遭うリスクを十分認識しないまま被害に遭っています。

そこで、自治体、関係団体等が相互に協力しながら、地域一体となった青少年の被害・非行の防止のための各種取組を実施しました。

【運動の重点項目等】

◎ 最重点項目	インターネット利用におけるこどもの性被害等の防止
○ 重点項目	有害環境への適切な対応 薬物乱用対策の推進 不良行為及び初発型非行(犯罪)等の防止 再非行(犯罪)の防止 重大ないじめ・暴力行為等の問題行動及びその被害への対応

【運動結果】

各機関・団体では、広報や青少年に対する講話などを中心とした活動を実施しました。

【主な取組】

- ・愛知県青少年保護育成条例の改正内容の周知と自画撮り被害防止に関する啓発活動の実施
- ・深夜営業施設等への立入調査の実施
- ・ZIP-FM 番組「AICHI SUNDAY TIPS」における被害防止広報の実施
- ・各市町村窓口におけるチラシ、のぼり等での被害・非行防止広報の実施

11月は「子ども・若者育成支援県民運動」の強調月間です

ひきこもりや不登校、若年無業者、貧困などの社会生活を円滑に営む上で困難を有する子ども・若者の問題や、少年非行、いじめ、児童虐待、児童ポルノや児童買春を始め子どもが被害者となる事件など、社会全体で取り組まなければならない課題が山積しています。

県民会議では、こども家庭庁がこどもや子育て世代を社会全体で支える機運を醸成すべく「秋のこどもまんなか月間」としたことに合わせ、県とともに毎年11月を「子ども・若者育成支援県民運動」の強調月間と定め、各関係機関、団体により、広報啓発活動や各種事業等を集中的に実施し、子ども・若者の健やかな育成や自立への支援を呼びかけます。「はぐくもう 自分らしく生きる子 愛知の子」をスローガンに、子ども・若者を取り巻く環境を、大人自身が再度見直し、子ども・若者を地域全体で育成し、自立を促すための支援のネットワークの輪を広げていきたいと思います。

第64回「青少年によい本をすすめる県民運動」 ～はがきによる読書感想文・感想画を募集しています～

青少年が「優れた本(よい本)」を読み、心の糧とすることは、青少年の想像力、社会性を養うとともに、豊かな人間性を培う上で大きな役割を果たすものです。

県民会議では、読書を通じて青少年の健全育成を図るため、毎年10月の強調月間を中心として、「青少年によい本をすすめる県民運動」に取り組んでおり、今年度で64回目となります。

青少年が本に親しみ、読書習慣をつくる契機となるよう、読書感想文・感想画を以下のとおり募集します。

- 応募方法 下記の募集図書16冊の中から好きな図書を1冊読み、読書感想文・感想画をはがきにかいて、郵便番号、住所、氏名、学校名・学年又は職業・年齢を明記の上、お送りください。
- 応募資格 県内在住又は県内に通学・通勤している方
- 応募期限 2025年11月4日(火)【必着】
- 応募先 〒460-8501 (住所記載不要) 愛知県社会活動推進課内 愛知県青少年育成県民会議事務局

読書感想文・感想画募集図書一覧

作品名	著者名/訳者名	出版社	本体価格
幼児向け			
ぎゅっ だーいすき!	作:新井洋行	童心社	¥900
あーっとかたづけ	作:田中達也	福音館書店	¥1,500
きらきら ぴかぴか もよう だいすき	監修:瀧靖之 絵:あかいしゆみ	朝日新聞出版	¥1,200
小学校低学年向け			
キミのからだはキミのもの	絵と文:ルシア・セラノ 訳:宇野和美 監修:シオリヌ	ポプラ社	¥1,600
やさいのはな なんのはな?	構成・文:宮崎祥子 写真:網野文絵	岩崎書店	¥1,400
たんたのたんけん	さく:中川季枝子 え:山脇百合子	Gakken	¥1,100
小学校中学年向け			
ひとりかもしれない	作:岩瀬成子 絵:田口実千代	フレーベル館	¥1,400
ぼくのなかみは なにでできてるのか	作:かさいまり 絵:おとないちあき	金の星社	¥1,450
シャーロットのおくりもの	作:E.B.ホワイト 絵:ガース・ウイリアムズ 訳:さくまゆみこ	あすなる書房	¥1,500
小学校高学年向け			
ともに生きる 山のツキノワグマ	写真・文:前川貴行	あかね書房	¥1,500
人間になりたかった犬	作:今西乃子 絵:福田岩緒	新日本出版社	¥1,500
夜の小学校で	作:岡田淳	偕成社	¥1,200
中学生向け			
6days 遭難者たち	著:安田夏菜	講談社	¥1,500
命をつないだ路面電車	著:テア・ランノ 訳:関口英子、山下愛純	小学館	¥1,500
高校生・青年向け			
夜と跳ぶ SHIBUYA STREET SKATER	著:額賀滯	PHP研究所	¥1,700
アナタノキモチ	著:安田夏菜	文研出版	¥1,600

令和7年度ボランティア活動功労者表彰受賞者

愛知県では、各分野においてボランティア活動を実践し、顕著な事績を収めた個人又は団体に対し表彰を行っています。今年度は、次の方が受賞され、9月4日(木)に愛知県庁において表彰されました。

受賞者	(敬称略)	主な活動内容
河村 武人(一般社団法人ボーイスカウト愛知連盟)		ボーイスカウトの指導及び育成

愛知県青少年保護育成条例を一部改正しました

愛知県では、多発する青少年※に対するいわゆる自画撮り被害を未然防止するために、「児童ポルノ等の提供を求める行為の禁止」の規定を新設し、2025年7月1日に施行しました。 ※青少年：18歳未満の者

■主な改正の内容

青少年への児童ポルノ等の提供を求める行為の禁止規定の追加(14条の2)

すべての者は、青少年に対して児童ポルノ等の提供を求めてはいけません。

青少年への児童ポルノ等の提供を求める行為の禁止規定に違反した者への罰則の追加(29条5項3号)

「拒まれたにもかかわらず」「威迫」「欺き」「困惑」「対償を供与」「対償供与の申込み」「対償供与の約束」といった不当な手段を用いて要求した場合には30万円以下の罰金となります。

年齢の不知規定の整備(29条8項)

上記規定に違反した者については、当該青少年の年齢を知らなかったことを理由として処罰を免れることはできません。

■青少年・保護者の皆様へ

画像を送るように求められても送ってはいけません。

メール等のやり取りを削除せず、証拠を保存して、信頼できる大人に相談してください。

■条例のご紹介

愛知県のホームページにて、愛知県青少年保護育成条例について紹介していますので、ご覧ください。(右の二次元コードからアクセスしてください。)



子ども・若者未来会議を開催します

子ども・若者の意見表明の機会を設け、社会形成への参画を促し、未来をつくる子ども・若者の活躍の後押しを図るため、7月・8月に開催した「子ども・若者ゼミナール」の代表者(高校生・大学生)が、課題と解決策について話し合った内容を発表するとともに、グローバル社会で活躍する若者を交えたパネルディスカッションをとおして、子ども・若者目線の主張や自らの未来を切り拓くための決意を取りまとめます。

開催日時 2025年10月25日(土)午後1時～4時(開場 午後0時30分)

会場 愛知芸術文化センター アートスペースA (名古屋市東区東桜1-13-2)

参加募集 どなたでも参加可能 定員100名(参加無料、事前申込制・先着順)

社会活動推進課Web ページ又は右の二次元コードからお申込みください。

社会活動推進課Web ページ：<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/syakaikatsudo/>

